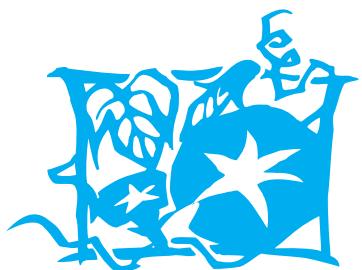


令和七年度

太田中央ライオンズクラブ

子供育成事業



第十三回 太田市小学生俳句コンクール

作
品
集

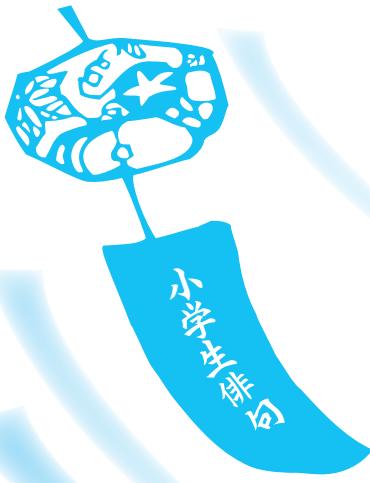
主催…太田中央ライオンズクラブ

後援…太田市・太田市議会・太田市教育委員会

上毛新聞社・群馬テレビ・太田商工会議所

太田市青少年育成推進員連絡協議会

太田俳句協会





卷頭言

太田市小学生俳句コンクール選考委員長
上毛新聞ジユニア俳壇選者

鈴木 伸一

小学6年生の皆さんですから、アルベルト・aigneau（一八七九～一九五五）という名前を聞いたことのある人も多いと思います。相対性理論や光量子説、プラン運動などをはじめとする数々の業績によりノーベル物理学賞を受賞し、「二〇世紀最大の物理学者」とも言われるaigneauですが、その業績とともにたくさんの名言を残したことでも知られています。その一つに「自分自身の目で見、自分自身の心で感じる人は、とても少ない」というのがあり、これは私たちが俳句を作る上でも非常に大切で、学ぶべき点の多い言葉だと思われますが、さて、この言葉を見て、皆さんはどう感じるでしょうか。「何だ、こんなのは普段からやっている当たり前のことだ」と思う人もいるかもしれません、本当にそうだと言い切れるのでしょうか。ここで一度、胸に手を当てて考えてみてください。特に、「自分自身の心で感じる」という部分が重要なのですが、これは何かを見て「ああ、きれいだ」とか「ああ、かわいい」とかといった底の浅い感情とはまったく異なり、自分の持っている知識、感覚、想像力などを総動員して、自分の心の奥深くからマグマのように湧き上がって来る感動へとつながってゆくものだと言えるでしょう。これは、借り物の知識などでは到底出来ることではなく、皆さんがさまざまなことを自ら経験し、その経験を自分のものとして体に取り込んで初めて可能になることです。皆さんには、ぜひ「自分自身の心で感じる人」になつてほしいと願っています。

末筆ながら、第十三回太田市小学生俳句コンクールが無事に開催の運びとなりましたことを関係する者の一人として喜ぶとともに、業務多忙にもかかわらず児童の俳句指導にお力添えいただいた各学校の先生方に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

（プロフィールは24頁に記載）

お礼の言葉

太田中央ライオンズクラブ会長
濱田 博文



このたびは、「第十三回太田中央ライオンズクラブ小学生俳句コンクール」にご応募を賜り、誠にありがとうございました。今回多くの小学校から多数の作品が寄せられ、児童の皆さんのがかな感性と創意に満ちた俳句の数々に、選考委員一同、心より感謝の意を表しました。

まず、本コンクールの開催にあたり、多大なるご支援・ご協賛を賜りました各団体の皆さんに、深く感謝申し上げます。地域文化の振興と、次代を担う子どもたちの育成にご理解とご協力をいただきましたことは、私どもにとりまして大きな励みであり、心より御礼申し上げます。

また、児童の作品づくりにご尽力くださった各小学校の先生方にも、厚く御礼申し上げます。日ごろのご指導の中で、言葉に親しみ、自然や季節の移ろいに心を寄せる機会をお与えくださいましたが、今回のすばらしい成果へとつながっております。子どもたち一人ひとりの中に芽生えた表現への喜びが、俳句という短詩形の中にいきいきと表れておりました。

俳句は、わずか十七音で心を伝える、日本の誇る伝統文化です。限られた言葉の中に自然へのまなざしや人の情感を映し出すこの表現は、思考力や感受性を高め、他者を思いやる心を育みます。デジタル化が進む現代にあっても、言葉を選び、感じ、伝えるというこの営みは、人と人をつなぐ大切な力であります。

太田中央ライオンズクラブは、地域社会に根ざした奉仕活動の一環として、今後もこうした文化的な活動を支援し、子どもたちの心の成長を応援してまいります。来年度もまた、多くの皆さまのご参加と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、結びの言葉といたします。

末筆ながら、本コンクールに関わってくださったすべての皆さんに、心より感謝申し上げます。

祝辞

太田市長 穂積 昌信



このたび、第十三回太田市小学生俳句コンクールが開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

また、長年にわたり本コンクールの開催と運営にご尽力くださっております太田中央ライオンズクラブをはじめ、関係各位の皆さまに深甚なる敬意を表します。

俳句は、限られた言葉の中に自然や季節の移ろい、人の思いを巧みに表現する日本独自の伝統文化です。子どもたちが日常の出来事や身の回りの自然を見つめ、その中から感じ取った思いや発見を言葉に紡ぐことは、感性を育み、豊かな心を養うことにつながります。本コンクールが、未来を担う子どもたちにとって表現の喜びやことばの力を実感する貴重な機会となっていることを、大変うれしく思います。

太田市では、「みんなの笑顔がすぐそばにあるまち おおた」を将来の都市像として掲げ、教育・文化・芸術など多様な分野での環境充実を図っております。これからも、次代を担う子どもたちがのびやかに成長し、心豊かに生きる力を育むまちづくりを進めてまいります。

結びに、本事業のご成功と貴クラブの一層のご発展、ご躍進を心よりお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞

太田市議会議長 星野 一広

このたび、第十三回小学生俳句コンクールが開催され、作品集が発行されますことに、心からお祝いを申し上げます。

また、主催の太田中央ライオンズクラブをはじめ関係者の皆様におかれましては、日頃より社会福祉や学校教育の向上のため、多大なるご尽力を賜り深く感謝を申し上げます。

俳句は、日本の四季や心の動きを、ほんの少しの言葉で表現する美しい文学です。小学生の皆さんのが、身の回りの出来事を見つめ、感じ取った思いを自分の言葉で表すことは、とても大切で素晴らしいことです。その一つひとつの作品には、皆さんならではのまなざしや発見が光っています。

この作品集が、皆さんにとつて思い出となり、これから学びや成長の力になることを願っています。

今後も、子どもたちの感性豊かな作品を発表する場として、この俳句大会の開催に、大いに期待をさせていただきます。

結びに、太田中央ライオンズクラブの会員の皆様のご健勝と本事業の今後ますますのご発展、そして俳句コンクールに応募してくださった子ども達の輝かしい未来を祈念申し上げまして、第十三回作品集発行の祝辞といたします。



祝辞

太田市教育長 江原 孝育

第十三回太田市小学生俳句コンクールが盛大に開催され、作品集が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。

本作品集には、太田市の未来を担う小学生が紡ぎ出した、みずみずしい感性あふれる俳句が収められています。一句一句に込められた豊かな情景や繊細な心の動きに触れ、私たちは深い感動と新鮮な驚きを覚えます。

俳句は、日本の伝統文化の精髄であり、わずか十七音の中に季節の移ろいや日常の一瞬を切り取る、世界に誇るべき短詩型文学です。この伝統を受け継ぎ、さらに発展させていく皆さん姿に、大きな希望を感じずにはいられません。

このコンクールを通じて、子どもたちは言葉の力や表現の楽しさを学び、また自然や身の回りの出来事をより深く観察する目を養つたことでしょう。これらの経験は、きっと子どもたちの人生を豊かにし、創造力を育む糧となるはずです。

最後に、本コンクールの開催にご尽力いただいたすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も子どもたちの豊かな感性と表現力を育む場として、本コンクールがますます発展することを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝辞

太田警察署長 吉田 武

「第十三回太田市小学生俳句コンクール」作品集の発刊を心よりお祝いを申し上げます。

コンクールで受賞された皆さん、誠におめでとうございます。

私は、地元太田市出身であり、地元小学生の俳句コンクール選考に関与できたことに対し、大変喜びを感じております。

今回の兼題は、自由課題だったと聞いておりますが、「夏」を強く感じさせる作品が多かったように思います。

作品の選考で、皆さんのが力作に触れましたが、本当に甲乙つけがたく、どの作品も素晴らしいものがありました。

皆さんは今、とても純粹で、素直な感性が研ぎ澄まされている時であります。今後もその感性を大事にしてもらいたいと思います。

惜しくも受賞を逃した作品の中にも、光る感性が随所に見られるものが多数ありました。

皆さんが今後も四季の移り変わりを敏感に感じ、元気に、心豊かに成長されることを願っております。

また、作品集の編集に御尽力をされました関係者の皆様に敬意を申し上げます。

結びに、本事業を主催します太田中央ライオンズクラブの益々の御発展と関係者皆様方の御健勝・御多幸を心から祈念いたします。お祝いの言葉とさせていただきます。



謝辞

太田中央ライオンズクラブ
小学生俳句コンクール実行委員長
矢部 伸幸

この度は第13回目の太田市俳句コンクールにご応募いただきまして、心から感謝申し上げます。応募のありました873句のすべてを読ませていただきました。どの作品も応募してくださいました子どもたちの気持ちが込められており、その若い感性に懐かしさや新鮮な刺激を受けました。これからも俳句という日本特有の文化をいつまでも楽しんでいただきたく存じます。

さて、俳句の醍醐味は風景や気持ちを数少ない言葉で表現するところにあると思います。人に伝えることの難しさは、常日頃から感じていると思いますが、俳句などの作品を作ることで、より素晴らしい言葉遣いに繋がるものと考えています。

結びになりますが、俳句コンクールにご協力いただきました各団体の皆さまや各小学校の皆さま、そして太田中央ライオンズの皆さまには、多大なるご尽力をいただきまして、心から感謝申し上げます。多くの子どもたちに日本文化の楽しさを感じていただけたと思っております。ご協力いただきました全ての皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

入賞作品

上毛新聞社賞

コロナ明け夜空に響く夏囃子

太田小 六年 大島 瑞嗣

夏休みこれは私の物語

九合小 六年 尾花 結羽

サンダルを川に盗まれ大あわて

鳥之郷小 六年 天笠 翔太

夏休み家族で夢中甲子園

宝泉小 六年 川崎 芭琉

炎天下球場内に打撃音

宝泉東小 六年 高橋 昊世

★太田市長賞
母の里歴史受けつぐねぶたの火

北の杜学園 六年 岡田 莉奈

★太田市議会議長賞

ラムネ瓶泡の輝き夏祭り

強戸小 六年 大谷 莉菜

★太田市教育長賞

八瀬川のカルガモ親子見入る夏

太田小 六年 小谷野沢徳

★鈴木伸一賞

青空に平和を想う夏休み

宝泉小 六年 三井 陽生

★太田警察署長賞

ほうづきも洋服ぬげばミニトマト

宝泉小 六年 伴場 梨帆

★太田商工会議所会頭賞

暑いけど歩いて学ぶ歴史かな

太田小 六年 近藤 陸斗

★太田俳句協会長賞

パレットで表せるかな夏の海

鳥之郷小 六年 今井彬太郎

太田中央ライオンズクラブ会長賞

かけ声で力合わさるおみこしだ

北の杜学園 六年 岡田 莉奈

★太田市長賞

母の里歴史受けつぐねぶたの火

北の杜学園 六年 大川 札

★太田市議会議長賞

ラムネ瓶泡の輝き夏祭り

強戸小 六年 大谷 莉菜

★太田市教育長賞

八瀬川のカルガモ親子見入る夏

太田小 六年 小谷野沢徳

★鈴木伸一賞

青空に平和を想う夏休み

宝泉小 六年 三井 陽生

★太田警察署長賞

ほうづきも洋服ぬげばミニトマト

宝泉小 六年 伴場 梨帆

★太田商工会議所会頭賞

暑いけど歩いて学ぶ歴史かな

太田小 六年 近藤 陸斗

★太田俳句協会長賞

パレットで表せるかな夏の海

鳥之郷小 六年 今井彬太郎

暁いた花夜空にちつて夏始まる

太田小 六年 由良 華暖

鳴いて呼ぶ母さん来てよ雀の子

南小 六年 鈴木 きい

ゆつたりと夜風にふかれる三日月夜

南小 六年 高島一智也

夏の夜に父と語らい駆ける僕

駒形小 六年 前原 悠人

夏休み楽しいけれど暑すぎる

駒形小 六年 野村 実玖

夕焼けの真っ赤にそまる大暑かな

駒形小 六年 平林 歩稀

ひまわりにわたしの笑顔にてるかも

南小 六年 須藤 愛紗

夕焼けの真っ赤にそまる大暑かな

駒形小 六年 野村 実玖

静けさに終わり近づく夏休み

鳥之郷小 六年 岡田 捻希

一つひとつ咲いては上へ朝顔も

南小 六年 福島 花音

夕焼けの真っ赤にそまる大暑かな

駒形小 六年 福島 花音

ひまわりにわたしの笑顔にてるかも

駒形小 六年 福島 花音

夕焼けの真っ赤にそまる大暑かな

駒形小 六年 福島 花音

ひまわりにわたしの笑顔にてるかも

駒形小 六年 福島 花音

夕焼けの真っ赤にそまる大暑かな

駒形小 六年 福島 花音

太田市青少年育成推進員連絡協議会長賞

暁いた花夜空にちつて夏始まる

太田小 六年 由良 華暖

鳴いて呼ぶ母さん来てよ雀の子

南小 六年 鈴木 きい

ゆつたりと夜風にふかれる三日月夜

南小 六年 高島一智也

夏の夜に父と語らい駆ける僕

駒形小 六年 前原 悠人

夏休み楽しいけれど暑すぎる

駒形小 六年 前原 悠人

小学生俳句コンクール実行委員長賞

夏空に仲間の笑顔忘れない	太田小	六年	栗原梨衣奈
せみの声まどの外からおはようと	鳥之郷小	六年	丹羽 霙
白球を追いかけ目指す甲子園	鳥之郷小	六年	砂庭 叶美
涼しげにゆれるひまわりわらつてる	休泊小	六年	小林 愛菜
もみじ舞う食すひととき塩むすび	敷塚本町南小	六年	金子 祐希
小学生俳句コンクール選考委員長賞			
海を見て食べるアイスは格別だ	九合小	六年	久保田奈穂
榛名湖でのんびりすごすボート釣り	宝泉小	六年	生田 健
きらきらと輝く海に息を呑む	宝泉小	六年	熊谷 優花
青い空プールに笑顔はねあがる	宝泉小	六年	シノハラジョナス
夏休みとける暑さの四十度	駒形小	六年	高橋 楓
夏休みの思い出背負つて学校へ	駒形小	六年	青木 初峰
せみの声真っ白ノートぼくのあせ	駒形小	六年	丸山 綾人
バスケットあせが飛び散るゴール下	敷塚本町小	六年	小堀 瑛都
夏の風人道雲までぼく飛ばせ	北の杜学園	六年	伊藤 道成
万博のリングから見る夏花火	ぐんま 国際アカデミー	六年	菊池 彩恵

太田中央ライオンズクラブ俳句の会長賞

浴衣着るるんはしゃぐ私居る	南小	六年	木村 美結
米不足父と一緒に米作り	宝泉南小	六年	五十嵐 漱
夏の空入道雲がおいしそう	中央小	六年	木村 心乃
積乱雲お空にうかぶわたあめだ	旭小	六年	菊地 杏利
ほんおどりぼくの心もおどりだす	沢野中央小	六年	岩澤 洋太
えんがわで木もれ日あびるかきごおり	世良田小	六年	定方剣太郎
ありがとう花火の下の消防車	生品小	六年	出口虎汰郎
ワンピース夏色かおるみずいろだ	綿打小	六年	亀井咲也加
川の声秋風ふいて声変わり	綿打小	六年	須永 翔吏
かき氷フワフワ山にみつの雨	北の杜学園	六年	茂木 里桜

第十三回 太田市小学生俳句コンクール入賞作品選評

青空に平和を想う夏休み

宝泉小 六年 三井 陽生

かけ声で力合わさるおみこしだ

北の杜学園 六年 岡田 莉奈

【評】 どこのお祭りであっても、みこしを担ぐと自然に気分が高揚し、体中に力がみなぎつてくるのを感じます。そうした人たちが何十人、何百人とそろって一斉に掛け声を出すと、一人一人のエネルギーが増幅し、さらに巨大な力に結集して祭りを盛り上げます。

母の里歴史受けつぐねぶたの火

北の杜学園 六年 大川 札

【評】 ねぶたで知られる尾島町は作者のお母さんの生まれ故郷でもあります。ヤーヤドーの掛け声とともに何台ものねぶたが練り歩く勇壮な祭りは一九八六年から始まつたそうですが、四〇年近くも受け継がれてきた歴史を作者も受け継いで行つてください。

ほおずきも洋服ぬげばミニトマト

宝泉小 六年 伴場 梨帆

【評】 熟したホオズキの外側をむくと、中には赤い実が入っています。「洋服ぬげば」が面白い表現で、さらに赤い実をミニトマトに見立てたことで、一層ユーモラスな印象になりました。ちなみに、ホオズキの実は品種によっては食べられるものもあります。

暑いけど歩いて学ぶ歴史かな

太田小 六年 近藤 陸斗

【評】 修学旅行で鎌倉などに行つたときのこととも、夏休みに出掛けたときのこととも読めますが、ネットなどからの知識だけでなく、実際に歩いてその場に行つてみないと、生きた歴史は学べません。ブランモリという人気番組も、歩いて学んでいますよね。

パレットで表せるかな夏の海

鳥之郷小 六年 今井彬太郎

【評】 夏の海も天候によつていろいろな表情に変わりますが、この俳句はいかにも夏らしい青々とした海でしょうね。ただし、青と言つても単純な青一色ではなく、太陽の光で濃い所も薄い所も出来ますから、絵にするにも十分な創意工夫が必要になりますね。

八瀬川のカルガモ親子見入る夏

太田小 六年 小谷野洋徳

【評】 金山の麓を流れる八瀬川にカルガモが営巣し、ひなが生まれてすくすく育つてゐるのです。多分、毎年のことなのでしょうが、今年も無事に親子で暮らしている様子を見ることができて、何となくほつとしている作者の優しさがよく感じられる俳句です。

ラムネ瓶泡の輝き夏祭り

強戸小 六年 大谷 莉菜

【評】 夏祭りの屋台はいろいろおいしそうなものが売られていて目移りしますが、清涼感あふれるラムネもいいですね。ふたを開けると炭酸の泡がしゅわっと出て、それがきらきら輝くのを眺めていると、祭りの楽しさが全身に伝わつてくるような気がします。

目を閉じて耳をすますとセミの声
 きれいだな夏の定番大花火
 夏休みやることなくてとてもひま
 夏祭り汗かきながらフランクフルト
 宿題中青空見ながら過ごす日々
 きれいだなホタルが光る夏の夜
 美しい庭いっぱいのジニアだな
 宿題の絵で書くきれいなカブトムシ
 夏休みワクワクプールたのしいな
 猛暑日だ太陽光るぎらぎらと
 つめたいなアイスクリーム夏まつり
 夏の虫ねているときに話し声
 ゴーグルをつけてはしゃいだ最高のプール
 きもちがいいかぞくとおよくとたのしいな
 部屋で見た夜空に光る夏の星
 旧友と浴衣を着て見る花火大会

牛来 愛菜
 斎藤 咲桜
 清水 博美
 杉岡 佑哉
 高橋 侑聖
 田口 詩
 福井 駿斗
 ファムバオハン
 ドミンゴス歩実
 チブナビアルフレド
 横澤 銀二
 リナレスナルミ
 若菜 隼羽
 山越 愛華
 渡邊みちる
 鏡 尊仁
 藤原 純
 加藤 日菜
 サンブランナイチロ
 吉田 ジャセン
 吉野 祐生
 阿久津 楓
 大隅 由蘭
 竹田 葉
 向後 茉那
 ルイスケンシ

暑い夏ふうりんの音きれいだな
 ふうりんがちりんとなればすずしいな
 夏日のきれいな音のふうりんだ
 夏休みビーチに行つてスイカ割り
 かきごおり冷たすぎてもおいしいよ
 暑い日だうみに入るのきもちいな
 スイカ食べ種を飛ばしておこられる
 あいの風幸せ運ぶ素敵かな
 夏休み流しそうめんおいしいな
 夏休み友達と祭り楽しみだ
 夏休みスイカを食べて楽しもう
 姉の夏成果が実る全国へ
 目標達成！がんばったプール「ありがとう」
 夏の夜に大きな花火咲きほこる
 雪景色家族で温かる天風呂
 きれいだな夏の花火が打ち上がる
 かきごおり夏にぴったりおいしいな
 夏休みかがやく海入りたい
 夏は夜花火がすごくきれいだな
 夏が好き空がまっさら暑い夏
 おいしいな真っ赤なすいか夏の日に
 夏休み海に行こうよ楽しいよ
 夏の空青く広がるどこまでも
 夏休み自分をみがく自由時間
 夏休み花火で楽しく一日過ごそう
 夏がきた花火アイスは最高だ
 夏が来たぎらぎら光るひまわりだ
 夏まつり「ドンっ」とひびくきれいだな

皆川 彩瑛
 小澤 琉希
 江原彩瑠愛
 大宮うらら
 廣瀬 純士
 森下 蒼太
 大川 遼将
 遠藤 遥真
 大槻和花奈
 亀田 月彩
 篠塚 優太
 恩田 莎凜
 宮里 姫衣
 井上由理乃
 辻本 孝正
 秋山 美穂
 大島 遙斗
 大沼 妃翠
 萩原 楓人
 小澤 虎駕
 加藤 大翔
 小野 遥香
 五井 瑛人
 小林 綾乃
 佐藤 朝陽
 宮戸 智広
 高橋実千花

夏の夜花火上がつてきれいだな
夏休み思い出いっぱい楽しいな
夢にみた打ち上げ花火上がる空
夏は夜花火たくさんきれいだね
夏休みすくすく育つ心など
あじさいはにじのようだなきれいだね
夏休みプールに行くの楽しみだ
夏休みアイスがとける暑い日だ
真夏日にそうめん食べるおいしいな
夏休み毎日やるぞ水あそび
夏休みきゅうり食べよおいしいよ

六年 武内 遥翔
六年 塚越 海星
六年 服部 流空
六年 平井 駿都
六年 深澤 七海
六年 前原 葵衣
六年 室井 謙信
六年 ヤギヨンシロウ
六年 柳川凜太郎
六年 山津 光凜
六年 吉江 日日
六年 大島 桃子
六年 星野 湊人

スイカわりはじける笑顔でもわれない
晴れの中海見て笑う六年よ
六年 島之郷小学校
六年 かにさされすこしかゆくてかきすぎる
せみのこえ夏を感じて気持ち良い
夏休み川のせせらぎ涼しいな
夏祭り花火がきれい楽しいな
秋近し庭でプールも終わりだね
夏の夜せみがなきだすミンミンと
かきごおりたくさんたべてふくつうだ
友達と楽しいプール行きたいな
新しい筆箱どきどきよくさわる
真夜中の打ち上げ花火きれいだな
暗い夜手花火光るパチパチと
軒下につららができる取りに行く
美しいピンクの桜咲き誇る

六年 福島 星野 來美
六年 幸星 來美
六年 松井 晴道
六年 松澤 寛太
六年 松本 晴道
六年 武藤 泽
六年 矢野 文菜
六年 中川 桜子
六年 松岡 那奈
六年 矢萩 亘
六年 阿部 百花
六年 新井 悅
六年 新井 晴登
六年 荒木 愛翔
六年 伊藤 歩夢
六年 太田 翔
六年 久保田 真桜
六年 越塚 翔太
六年 後藤 美校
六年 澤 綾那
六年 新藤 優奈
六年 竹田 姫夏
六年 竹政 凜花
六年 橋爪 結菜
六年 藤原 美心
六年 船生 葵

また夏かすごい暑いぞ熱中症
雪だるま寒いお庭に平気かな
暑い夏こんな時こそ頑張るぞ
蝉の声聞くと暑さが増えるよう
大きらい花粉の季節くしやみでる
夏の海かがやく海面きれいだな
雪の日も楽しく遊べる雪だるま
夏休みプールで楽しく遊んだよ
向日葵が日に照らされてよくのびる
かきごおり食べてあたまがキンキンだ
夏休み友達遊ぶ夏休み
夏花火色彩豊かかけめぐる
外見れば睡蓮が咲いてきれいかな
夏が来た思い出作り楽しみだ
ふりそそぐさんさん太陽炎天下
外で見る満開に咲く桜の木
風鈴がゆらゆられてすずしいな
風がふく桜の花びらまいあがる
蝉の歌響く金山思い出の夏
日が沈みあちこち聞こえる夏の声
向日葵が日の光見て笑つて
秋になりもみじの色が真っ赤だな
菜の花に光り輝く日の黄色
夏休みあつとというまに消えていく
夏休み思い出づくり楽しいな

六年 福田 星野 來美
六年 幸星 來美
六年 松井 晴道
六年 松澤 寛太
六年 松本 晴道
六年 武藤 泽
六年 矢野 文菜
六年 中川 桜子
六年 松岡 那奈
六年 矢萩 亘
六年 阿部 百花
六年 新井 悅
六年 新井 晴登
六年 荒木 愛翔
六年 伊藤 歩夢
六年 太田 翔
六年 久保田 真桜
六年 越塚 翔太
六年 後藤 美校
六年 澤 綾那
六年 新藤 優奈
六年 竹田 姫夏
六年 竹政 凜花
六年 橋爪 結菜
六年 藤原 美心
六年 船生 葵

涼し風歴史の深い鍾乳洞
すいか割り夏ならではのたのしみさ
夏休みプール楽しいこといっぱい
夏休み友達と行く夏祭り
夏休みプールで遊び楽しいな
せみの声命の限り鳴いている
ふうりんのりんりんとなるすずしい音
きらきらと宝石のよう夏の海
夏休みアイスを食べてひと休み
夏休みあついけどのしむよ
ああ暑いセミも鳴けない夏の昼
夏休み旅行たくさん楽しいな
夏休み県大会でかつやくだ
水遊び怖がる犬とはしゃぐ僕
楽しいな夏しかできない水遊び
楽しい時と真剣になる時を考えよう
夏空にひまわりさいてあでやかだ
鳥の声聞こえてくる山の中
夏休み体調くずさずがんばるぞ
なつやすみかぞくとりよこうたのしいな
夏の今セミの鳴く声聞こえるな
とても暑いプールにはいりすずしいな
夏祭りヨーヨー釣つて楽しんだ
七五三人それぞれのねんれいで
夏祭りすてきな花火きれいだな
お年玉毎年もらううれしいな
南小学校

室田 健志
八木田愛梨
野村 奈央
佐藤 結月
武田 真央
稻垣 結奈
岡部 琴音
落合 虹心
太田 琴菜
亀井 美里
岡ノ谷雄斗
中山 陽登
黒川 蒼太
森下 遙
岩崎 大輝
藤塚 唯人
新井 雪斗
砂永 萌衣
藤本 妃彩
田幡 結人
後藤藏乃介
香山 愛睦
今井 翔太
島田 咲季
大谷 颯都
石井 莉桜
正田 芽

家の庭夜空見上げて天の川
秋の風かすかに寒き星月夜
夏の夜星ふる空がきれいだな
ブールの日いっぱい食べて楽しいな
梅雨の朝雨がふりそぐ雨の日だ
秋の夜残暑でジメジメエアコンだ
初日の出真っ赤にそまる朝の空
年玉のなかみ何円千円か
ひまわりがキラキラ光るきれいだな
霜柱調べてみたらちよーきれい
食べたいなもちもちして鏡餅
梅雨明けて晴れた夜空に虫が鳴く
天の川明るい夜空きれいだな
夏の虫時を感じるかぶとむし
夏休みしゅくだいの量多すぎる
かぶとむしなつにいたらねさいこうだ
お月さま夜のくらやみてらしててる
夏のよるかみなりゴロゴロおそろしい
夏の夜夜の花火はきれいだな
公園で見つめているの甲虫
夏休み一日遊ぶ子どもだな
夏の夜今日も夕立来るのかな
天の川二人を分ける境界線
風の下勝負にいどむ金魚すくい
梅雨明けて外で遊ぶは子供達
天の川年に一度の再会だ
夏祭り花火上がるともり上がる
こいのぼり風にふかれて泳ぎだす

暑い日にふうりんの音きもちいな
寒い冬こたつでみかん最高だ
初鰯一本づりでしんせんだ
お年玉この日のために生きてきた
ふうりんがチリチリなるよ永遠に
夏は花がきれいでさわやかな気持ち
こおりみずひんやりしていてすずしいな
寒い時願い事する初詣
桜まう卒業式は思い出だ
なつあつい水あびるのだひんやりだ
氷水あついときにはこがねむし
クリスマスいい子にしたらプレゼント
ほととぎす夕焼け空を飛んでいる
夏祭り浴衣に花火きれいだな
かき氷時間がたつと水になる
紫陽花のしづくが落ちる雨あがり

渡邊 優衣
関口 虹歩
カストロルース
木村 莉子
川村 羽菜
酒井 龍
栗原 愛梨
金谷琉彩乃
野村 恵未
小沢 良太
塩田 佑真
大江 柚花
白土 結愛
ヤ ヒイ
安部 千尋
押川 瑞亞
長谷川 葵
阿久津宏文
山崎暁太朗
柳 玲衣奈
森田 奏翔
茂木 逢志
都 和仁
松井 凪汰

秋の夜満月見ながらもちを食う
せみの声夏のとうらい季節の音
冬風とかすかに残る秋の音
夏休み楽しいことたくさんだ
夏の夜の花火で心いやされる
光る花空に上がりし夏の夜
夏の外セミがミンミン泣いている
降つてくるまつ白な雪きれいだな
夏の海きれいな貝殻遊び
冬の朝雪につららに凍りつく
夏アイスとてもおいしい大好きだ
日光があつくまぶしく地をてらす
シーオーツー減らす意識がよい明日
風ふいて桜まいおりあくびする
夏休みきそく正しい生活を
せみの声短命なのにひびいてる
夏休みめんどうくさい宿題
暑すぎてセミも布団で寝てるかな
夏らしい空にひびいたセミの声
熱帯夜雨のにおいと寝苦しさ
夏休みせみしぐれききこころよき
ゆらゆらと田んぼのいねがなびいてる
せみがなく短い命つないでく
外見たらバラバラ降るよ白雪
ヒマワリの笑顔をふりまく花畠
赤とんぼ夏の思い出振り返る
夏祭り遠くて近い花火の音
暑い夏最高だつた夏休み

増田 創士
羽生 りん
中平 陽莉
津久井愛風
関口來琉翔
黒岩 瑛大
佐川 萌華
木村 南月
尾内 莉奏
岡部 古采
岡野 悠希
遠藤 彩音
石原 萌絵
岩瀬さくら
加藤 諒哉
須田妃奈乃
田島 政宗
今村 結奈
坂庭ひかる
高山 志優
阿久津颯真
齊藤 礼
長尾向日葵
佐々木志道
田島 寧乃
三上 晴司

夏休みプールや海たのしいな
春の川少しつめたくきらきらと
宿題めんどくさいよ夏休み
春の風桜まい散る新学期
夏だけどいつものように異例の暑さ
夏毛でも床にのびきる猫まんじゅう
風りんの音がするなり夏が来た
夏休み宿題終わらせゲームする
夏祭り花火があがる空高く
こたつの中ねこがぐつたりねてているな
ことしこそかぞくではなびしてください
宝泉小学校
あついなつ夜にはきれいなホタルたち
夏休み家族そろつて花火の夜
金色堂同色メダルを目指す夏
夏休み計画立てて実行だ
せみの声夏をしらせる働き者
友達と夏の思い出千葉のたび
梅雨過ぎて元気に遊ぶ子どもかな
夏休みたくさん宿題いそがしい
むしあつく雨もザアザアああつらい
みずあそびたのしいけれどあぶないよ
帰り道夕やけ雲がきれいだな
公園でミンミンと鳴る木の下で
夏の夜静に寝息猫の声
かき氷青くそまつた舌の色
誰も居ぬブランコ揺らす空つ風
風鈴の音で感じる夏休み

六年 六年

田名網咲希	前原	塩田
高木	木暮	侑愛
菅原	小野里	一花
清水	塚田	希星
小島	高島	にこ
小林	尾内	美智
北嶋	赤松	七音
河野	藤田	成羽
岩城	渡邊	旭陽
今林	飯塚	青木
石川	想祐	陽翔
伸希	優璃	阿久戸歩夢
有准	綾人	壱球
綾人	夢果	青木
涉	希良	青木
希惠	彩華	青木
文乃	希良	青木

汗の玉手と手をにぎりレディーゴー
夏の夜に空を飛ぶホタル光っている
いじめつてそんなのないよあたりまえ
夏の海波音ひびく水平線

春になり新たな出会いはじまるよ
暑い夏アイスを食べて涼しいな
千葉県で海に飛びこむ家族旅行
夕焼けに影伸びて遊ぶ帰り道

みんな行くとても楽しい学校だ
夏祭り花火が空にうちあがる
晩夏かな橙色に染まつてく
危ないよ睡眠不足で熱中症

暑くないとんぼも休むこの晩夏
夏休み太陽キラキラ青い空
夏休み終わるのはやすぎさみしいな
夏休み怖い話で盛り上がる

美しい自然環境こわさない地球のため
夏の夜空見上げれば星見える
暗やみに静かに灯る線香花火
夜の中あたりを照らす夏の月

ソーラン節みんなワイワイ運動会
夏祭り夜空を飾る打ち上げ花火
セミの声外全体にひびき合う
友達と楽しく元気夏休み

暑い夏そめん食べてさわやかに
授業中耳をすませば蝉の声

六年 六年

ジリジリと耳をすませば大合唱
夏野菜旬の今こそ食べどきだ
夏の夜林の中のかぶとむし
かき氷夏の定番おいしいな
空の光花火の音がひびいてる
一つの球追いかけ続け勝ちが来る
川あそび犬もニコニコ夏の空
かみなりやねこもおどろきもうダッショ
友達とかき氷食べキンキンだ
空からの夏の思い出ゴロゴロと
炎天下飛んだけボールホームラン
あと少し悲しく思う夏休み
友達は私の味方大切に
夏の夜はたる輝き星のよう
花火散る夜空にひびく夏の夜
夏祭りみんなで笑い楽しみ合う
秋の葉はふむといい音楽しいな
夏がきた家族とプールたのしいな
炎天下最後の球が夢を呼ぶ
夏の森セミがみんな鳴いている
なつやすみひまわりばたけきれいだな
暑い夏アイスやプールたのしいな
夏の海すずしい潮風きれいだな
大切に仲良くしよう友達と
歴史たち未来へのこしつなげよう
暑い日に友達と行く夏祭り
いじめなしみんななかよくけんかなし

六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年
ホアンカアンティー	吉本光希	吉積暖乃	渡邊侑梧	安藤翼沙	磯部永実	井手上海嘉	大谷悠翔	小澤紗生	加藤結月	金澤大貴	鯉沼登羽	木暮希来	坂田彩葉	佐々木心優	澤口司	杉山拓人	田村怜依奈	中山穂叶	根本恭輔	萩原愛莉	橋本愛花	萩原帆風	藤田鋼我	松島陽向	三森あかり	矢田眞人	山崎太凱		

助け合いみんな仲よく過ごそうよ
春の宵夕暮れ時のさびしさはなく
夏祭り思い出作り友と共に
ホーム目指し夏空走りどろまみれ
暑い夏食べなくなるよかき氷
山の端にひとひら雲が昼寝かな
夏休みドリルにひょうごおわらな
空見上げ入道雲現れる
叶えたい太鼓の上で見る花火

毛里田小学校

ひまわりもあつくてぐつたり温暖化
せみの声子ども楽しむ季節くる
真夏日にぎやかな声明明と
試合後にポカリ一氣で笑う友
あずきバー攻略むずしたまごつち

中央小学校

西瓜割り赤い果汁が弾け飛ぶ
来年も七夕来たら願い事
笛ひびく山の祭りや風わたる
暗い夜ホタルの光り美しい
初体验かき氷よりもカーリング
夏の夜いろいろな虫ミュージック
きれいだなひらひらと散る秋のもみじ
ふうりんが鳴りひびく中たねとばし
友達と楽しかったな夏祭り

雪だるま朝にはとけるまたいつか
宝泉東小学校

六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年
山下晴琉	吉田萌夏	高屋杏	田島來玖	森皇輝	新井杏椰	安部修平	大澤友理奈	福田みやび	河田美空	鈴木暖人	松本夏弥	藤巻虎士	布施田咲良	濱田玲志	平原瑞絆	亀山湊大	山下怜南	大川冬真	山川	小林妃織	細井美寿	青田みなみ	矢田眞人	山崎太凱	

夕日見て田んぼの反射地球みたい
夏祭り家族とまわるお店屋さん
雪つもり上毛かるたがんばるぞ
炎昼に外出控え涼をとる
寒い中ココアを飲んで温まる
さくらさき花びらキャッチ運ゲット
休みの日プールで遊び肌寒い
暑い日にアイスを食べておいしいな
暑い時期ここにのりこえればいい自分
走り幅汗にじみでる自己ベスト
ぼく達はプールで遊ぶ気持ちはよく
さわやかに芽出ししはじめ始業式
お花見は家族みんなで楽しむぞ
山粧う色なき風と山を見る
冬の花キラキラ落ちてとけてゆく
新学期友達たくさん作るんだ
初めてのはなやかにまう雪たちだ
夏休み川原ひびくセミの声
暑い日の登校のりこえ夏休み
暑き日に英検テ스트楽しいな
暑い日に冷し中華食べたいな
あたたかいきれいなさくら。ピンク色
白い粉空から降つて雪遊び
晴天を必死に願うプールの日
浴衣着ていっしょに歩くげたの音
きれいだなドンドンとなる花火のこ
夜桜の華やかな空に一目惚れ
桜咲く風で花落ちきれいだね

楽しいな友達とお祭りに打上げ花火
縁側の涼を呼ぶ声風の音か
夏休み元気にすごす一ヶ月
会場で打ちあげ花火ドカンとね
がんばろう最後の試合甲子園
チヨコバナナをたべて美味しいまつり
友だちといっしょにプールたのしいな
美しうぐいすの声いつまでも
雲が泣くなかなかやまぬ夕立だ
なつやすみずっといえにいるだけだ
夏休み水分補給欠かさず
暑しの日チリンと鳴るよ風鈴が
ともだちとゆきがつせんはたのしいな
たくさんゆかた姿とりんごあめ
厳寒やいすれ愛せる時経てば
祭りの日楽しみに待つ子どもたち
友と行けば我を忘れる暑き祭り
スイカ割り海辺のそこで割り合うよ
あたたかい春のお花が美しい
すずしいなきれいな桜さいている
暑い日にアイスをペロリとけてきた
桜まうもうすぐみんな中一だ
オレンジの紅葉の姿立派だね
友だちといっしょにプールたのしいな
音たてずさらさら流れる天の川
さようならすぐにつく夏休み
はるの夕日どうろにうつる人々のかげ
旭小学校

空を見る夕焼け空がきれいだな
バラバラときれいな花火目に映る
雪だまでスリーポイント大勝利
桜の木散りゆく様も美しき
夏が来たかがやく花火キラキラと
雪だるままでの外では黄色の音
聞いて見て季節感じるほととぎす
暗やみに光を照らす大ほたる
山登り紅葉もみじなみだる
真夜中に世界に響く除夜の鐘
山のぼりもみじを見ると力つく
外出ればみえる桜のやさしい声
限りない広い野原に赤トンボ
もみじの葉山の日と合い美しい
夏の川流れの音色鳴り響く
さつまいもほくほくうまい秋のし
思い出す青空見れば母の顔
外見れば変わりゆく空黄金色
やつときたかわいく着付け七五三
クリスマスたのんだ物が届かない
暑いけどみんな楽しみ夏祭り
夏の夜涼しい空のあまの川
己の眠り洞穴の中で春を待つ
夜の空流れ続ける天の川
雨強く暗い雲の空怖くなる
アジサイは色とりどりのほうせき
すんだ空あの子の涙とさくらの木
とびら開け周りを見れば白き世界

六年 六年

夏休み夏の月みて花火みて
鳴り響く雷光の声葉が落ちる
暑き夏打ち水やりて涼しかな
涼風だ夏の終わりに近づいて
外がきれいずっと見てたいさくらの木
河星かな空で遊んで祭りかな
梅雨終わりアジサイ垂らす雨水だ
夏休み川の音がひびいてる
風薰る春は過ぎたと夏が呼ぶ
新年の一度初じまり春休み
夕立の少しの間は涼しいな
雪が降れば雪の降るだけ笑顔あふれる
芒種日我がたんじょうつゆの中
蝉時雨夏を感じる夏の峰山滴る
リンリンとゆれる風りんすずしいな
放課後にぶらんこで遊ぶ夕焼け空
桜まう力合わせて未来へ走る
川のそばほたる飛びかう夏の夜
耳すませばミンミンミーンせみの声
せみの声心にひびく夏休み
海の水空にてらされ光つてる
夏休みおもいでいっぱいいたのしみだ
青春は人が思うにありきたり
夕暮れと赤や黄色のもみじの木
今はカエルの歌声さわがしい
カブトムシ羽化した姿はあはれなり
鳥ないて起きてみれば菊に露
夏はまつりはなびでつかいおどろく目

清水日菜希 小林 八木 遥果
佐藤 但野 杏莉 蒼來
臺本 恰那 石井 太陽
劉 智文 小金澤隼斗
齋藤 藝穀 山田 龍毅
橋爪 琉希 佐藤みなみ
芳賀 希心 佐藤みなみ
龜井 香梨 大澤 武裕
日葉 碧衣 中川 京里
森 楓華 三宅 佐藤みなみ
尾花 茉依 天笠 潤來
金澤 楓華 來希 倖
植松 獅音 夏紅
加藤 猪俣 夏紅
石井 天笠 智久
佐藤 但野 恰那
劉 智文 琉希
小金澤隼斗 太陽
齋藤 藝穀 佐藤みなみ
橋爪 球希 佐藤みなみ
芳賀 希心 佐藤みなみ
龜井 香梨 大澤 武裕
日葉 碧衣 中川 京里
森 楓華 三宅 佐藤みなみ
尾花 茉依 天笠 潤來
金澤 楓華 來希 倖
植松 獅音 夏紅
加藤 猪俣 夏紅

暗い夜大きく光る花火たち
暑い夜さきほこる花美しい
あしあとがひとつふえてる雪のあさ
ストーブは冬の寒さにまけないぞ
友達とスイカわりしてはなびする
桜舞う笑顔多くの子達かな
クリスマスとてもたのしいパーティーだ
新しい出会いうれしいな桜といつしょに
夏生まれ向日葵さきよまつすぐな
暑い夏つくつくぼうし鳴いている
川の音波うららかに流れだす
もち食べてかねがなるなり年こしだ
セミの声真夏の昼にあつくなる
心までさわやかになるナツミカン
うららかな日桜舞い散るあざやかに
夏休み日本がポツダム平和時代
天の川七月七日会いに行く
天の川星の流れに笑顔さく
お花見であたたかい日ざしはるのかぜ
あまがえる冬を越し春に出了
夏夜空光るなつみかんアンタレス
夏祭りいつも蚊にさされかゆくなる
外でたら桜が飛び散る春の朝
駒形小学校
ひとめぐり長くは生きれぬせみのこえ
青き海寄せては返す波の声
お祭りで花火バンバンなつて
夏祭り金魚すくい魚たち

上正路蓮碧 金子 河合 心海 川口 草間 工藤 壮真 大智 蒼真
川島莉唯紗 鯨井 允喜 熊野 葵 熊野 葵 川島莉唯紗 鯨井 允喜 熊野 葵
高橋 曉広 佐々木 萌 立道ゆり花 小林 翔愛 中神 海利
不知さくら 深谷 夏稀 濱野 桃花 本郷結乃彩 初澤 砂那
森尻 矢内 柳 尊統 水谷 太一 本郷結乃彩 初澤 砂那
茂木 宮原 心葵 椿季 一翔 聖栞 真嶋 本間 一翔

ああ暑い冷たいアイスぼくの友
去年より短くなつた浴衣着て
炎天下ボーカル追いかけ夏過ぎる
夏の夜きれいにさいでちる花火
夏祭りヨーヨーわれて水はじく
夏の夜セミがミンミンないでいた
夏休み花火を見てきれいだな
セミの声太陽合わせ夏來たる
夏は海きれいな花火ひびく音
夏の夜すずしき風がまど通る
外行けばめがねくもりし夏の午後
夏休みアイスを食べて幸せだ
夏休み楽しい思い出ふやしたい
夏野には白南風吹いて頬撫でる
焼けた肌ブルーへ飛びこむ夏の子だ
せみの声木のそばでなく夏の歌
親戚と祭りに行つた夏休み
久しぶり友とえがおの夏まつり
花火達家族みんなではしゃいでる
夏の夜夜空を見上げ流れ星
ひまわりが暑くてかれる夏休み
暑すぎる花火大会ひますぎる
雨の日に七色できるのめずらしい
夏の風ゆれる緑と波の音
セミのこえスイカをたべたなつやすみ
夏休み遊びたりないでも暑い
夏休みみんなが食すかき氷
暑すぎて犬もばててる午後の庭

六年 六年

梅ジュースきやつきやと口で遊んで
夏の日に犬と元気に水あそび
阿蘇の風いとこと笑う夏の水
夏きたるにぎわう海辺楽しいな
楽しいな友と祭りにゆかたでね
夏の山下ればひびく水の音
夏休みプールに行って日焼けする
夏休み八月終わりにあせるぼく
夏の夢最後の大会甲子園

小澤妃奈乃	大家	大高	大澤	伊丸岡樹來	石川	阿部	阿藤	松村	岸	勇駕	花見	郁人	中山由樹夏	鈴木	楓麻	畠山	木村	阿由葉響己	板橋
颶斗	莉奈	莉奈	歩	心咲	優磨	優生	彩愛	優生	勇駕	花見	郁人	楓麻	うらら	うらら	隼馬	玲那	琉希	葵	

夏休みプールであそびつかれる
冷蔵庫かき氷あるすぐ食べる
夏休み心と体チャージする
春休み宿題なくてラッキーだ
冬休みアイスをたべるさむすぎる
夏の夜空がばくはつにぎやかだ
夏休み宿題わすれ絶望す
夏の空いかづちゴロン停電だ
暑い日にアイスを食べすぎはらこわす
暑い日に海に入つて楽しいよ
なつまつりきんぎよすくいなみだでる
夏休み海に入つて気持ちいよ
夏休み海に入つてあそびたい
風鈴が夏の始まりつたえるよ
エアコンのリモコンがない絶望だ
夏の夜花火ピカピカきれいだな
夏休みほくらだけでなく虫もとぶ
宿題でせつかくの夏台無しだ
暑い日に食べるスイカは生きかえる
アイス食べ暑さにたえる夏休み
夏祭りバイナップルで舌いたい
夏祭り花火がきれいいたのしいな
夏休みみんなで行こう夏祭り
夏の夜かにさされてイライラする
キラピカン空を見上げてきれいだな
雪だるまとても楽しい冬の朝
ブルーハワイ富士山のようナンバー1
なつのうみさかなあばれるダイビング

六年 六年

大久保桜菜 小杉 勇翔
佐藤 泰来 柴林 泰来
島崎 澄澤 島崎 澄澤
島村 諒介 佐藤 諒介
白石 仁奈 梶原 太郎
末川 璃愛 小林 太郎
菅谷 初芽 佐藤 太郎
鈴木 ひかり 菅谷 初芽
高草木 澄奈 鈴木 仁奈
柳尾 蓮人 鈴木 瑞莉
中島 優斗 鈴木 ひかり
西本 悠真 高草木 澄奈
福山 新奈 高草木 澄奈
松澤 珠濠 柳尾 蓮人
芦沢 珠濠 柳尾 蓮人
池野 珠濠 福山 新奈
心彩 珠濠 芦沢 珠濠
大山 七美 池野 心彩
江連 葵 石井 琳太郎
小原 康暉 石井 琳太郎
鎌須賀康成 石井 琳太郎

BBQしてスイカ食べるがべつばらだ
夏暑い風りんは良いすずしいな
夏休み雨がふつたら水遊び
風鈴の音でめざめるいい夏だ
冬こたつ一度入つたら出られない
ぬくぬくこたつに入つてねむくなる
雨が降るつゆに感じる涼しきさ
ひまわりが空に照らされ輝いた
夏プールみんながぎやあぎやあたのしくあそぶ
夏休みまだかまだかとまつて
桜咲き色とりどりの春が来る
キラキラと夏の太陽きれいだな
せみの声暑さにたえる夏の夜
暑い夏ガラスのようなかき氷
夏休みヒマワリあつてきれいだな
アマガエルケロケロなくよ梅雨の朝
セミのこえなつのあいだたのしみだ

六年 菊谷理々香
六年 神田 夢果
六年 吉良 真琴
六年 佐和田獅音
六年 清水菜々子
六年 鈴木 優愛
六年 関口 陽莉
六年 高谷ジュリア
六年 武井 心虹
六年 館 樹那
六年 中里 悠人
六年 長谷川煌生
六年 林 仁武
六年 藤田 望愛
六年 茂木 陽太
六年 山川 烙人

六年 菊地 空
六年 周藤 芽依
六年 松島 あや
六年 小林 美夢
六年 滝野ひなた
六年 高橋 侑希
六年 境野依美瑠
六年 高橋 咲花
六年 土屋実友音
六年 磯 承太郎
六年 高橋 侑希
六年 境野依美瑠
六年 高橋 咲花
六年 土屋実友音
六年 磯 承太郎

夏限定砂はまの上でスイカ割り
7月はきせつはずれの暑い夏
冷たいよプールに入る夏休み
あつい夏ギラギラかがやく夏の光
かきごおりあたまひえるがおいしいよ
冬にはねおでんにみかんおいしいな
夏がくる家族みんなで川遊び
夏の夜自然の音をきいてねる
スイカたべタネおおすぎてのみこんだ
春がきてさくらがまんかいきれいだな
かき氷ひんやりしめる体にね
すずしいなふうりんなつて夏がくる
木崎小学校
天の川星が流れる夜の空
夏の夜空にきらめく大輪の花
かき氷家族で味わう夏の涼
生品小学校
暑い夜風りんひびくすずしいな
すきとおるうみべのそばはしおかおる
友達は私にとつて宝物
友達と野球楽しむ熱い夏
6年生人生最後の小学生
トマトたちまつ赤な顔で笑つてる
夏夜空サソリがオリオン探して
天の川美しい空へ願い事
夏休みひごろのつかれすぐとれる
かきごおりイチゴかメロンなやむよね
天の川星の行列に導かれ

六年 富井陽菜多
六年 富岡美衣奈
六年 手塚 芽依
六年 周藤 芽依
六年 松島 あや
六年 小林 美夢
六年 滝野ひなた
六年 高橋 侑希
六年 境野依美瑠
六年 高橋 咲花
六年 土屋実友音
六年 磯 承太郎

六年 富井陽菜多
六年 富岡美衣奈
六年 手塚 芽依
六年 周藤 芽依
六年 松島 あや
六年 小林 美夢
六年 滝野ひなた
六年 高橋 侑希
六年 境野依美瑠
六年 高橋 咲花
六年 土屋実友音
六年 磯 承太郎

うらぽんえごせんぞさまのおかれりび
夏休み見上げる空に大花火
青い空くもがふわりとういている
かき氷みんなで食べて暑気払い
なつがきたふゆとくらべてあつすぎ
小学校6年間の楽しい思い出つまつ
楽しいなみんなで遊ぶ夏休み
ふうりんがりんりんとないでいる
かき氷夏の思い出よみがえる
暑い夏水と遊んでここちよい
夏祭りとてもきれいな花火だな
夏の日にセミがいっぱい鳴いている
すずやかなふうりんの音夏休み
梅雨の時期雷ゴロゴロ鳴りひびく
ふうりんがすずしい声で話して
空の下青くかがやく夏休み
涼風で夜に風鈴なりひびく
暑い夏プール入るの一番だ
梅雨終わり真夏の季節やつてきた
夏の夜ホタルの光風とともに
夏の夜みあげてひかる大はなび
青あらし幼い青葉がゆれてい
楽しもうみんなと遊ぶ夏休み
夏の空ゆうやけ雲をぼくは見た
夏がきたあつくてプール楽しいな
夏がきたあついときこそかきごおり

校庭に色とりどりの葉が見える
夏休み多い宿題次々と
天の川願いを川へながれてく
夏休み最後の日には宿題
川近くほたるの光点々と
りんりんとふうりんがなる夏の夜
夏祭り多くの花火きれいだな
暑い夏みんなで注意ねつちゅうしよう
夏休み友達と会える夏祭り
夏祭りよりのはなびがきれいだな
夏休みゆめにむかってはしりだす
なつやすみかぜのおとなるいとすずし
冬休み雪がつせんでたのしもう
みんなでさ笑つてすごす夏休み
春の朝サクラがさいてスタートだ
夏休み水の事故には気をつけて
夏の夜空に光る星空
道ばたでひまわり見えた夏が来た
りんりんと冷しげな音風鈴だ
暑い夜すず虫笑ういとをかし
梅雨明けはまだだときづくこの暑さ
夏の山まちから山へああすずし
せみがなきかみなりもなりなつが来た
夏休み最後の夏を味わおう

夏休みのりこえようよ暑い夏
夏休み川がかがやくきれいだ
静寂にドカンと上がる大花火
暑すぎてセミも鳴かない昼口
夏休みみんなでプール楽しいだ
かきごおりみんなで一口きき
夏が来た。プールにはいりおた
クラス替え歓声悲鳴大騒ぎ
なつのよるまわりを見ればほ
夏休み外があつくてひきこも
冬休みおとまり会でなべか
夏休み笑顔いっぱい楽しいな
夏の日におひさま照らす光
夏祭り歌に合わせて踊つたよ
窓外に轟く音は揚花火
入道雲わたがしみたいでおい
最後の年友と過ごして思い出
花火見に夏の夜空花畠
映画館鬼滅の刃面白い

六年 六年

蓮沼 橋本 尚大
新井 飯野 泰地
小林 高橋 裕慎
利居 眞崎 真美
高橋 増山 帆野花
吉田 瀬七 吉田みらい
渡辺 優菜
須田 皓己
松本 一途
長澤 陽希
川久保まひな
柿沼 花香
古川あかり
高橋 飛翔
加藤 壮恭
新井 基月
熊倉 賦大
稟原 丞玖
須永 小夏
高松 栄亜
長坂 誠也
中島 慶也

空の花色とりどりに打ち上がる
夜が来て大輪が咲く花火かな
夏休みみんなと遊んで楽しいな
夏休み宿題多い頑張ろう
梅雨があけ夏の本番がんばるぞ
真夏の日かげをわたつて帰る道
学校帰りはやく食べたいかき氷
ジリジリとみんなたえれぬ暑い夏
夏の夜ミンミン聞こえるセミの声
夏が来た家族でパーク楽しいな
そこにでてミンミンゼミの夏のうた
夏休み思い出づくりの海水浴
夏の空とんぼがとぶよすいすいと
外出ればむしむし暑い夏休み
暑い夏じんべいはおつて夕すずみ
夏休み課題たくさん大変だ
せみの声よるに始まる音楽会
セミの声きこえてきたな夏がきた
ひまわりと熱きせくらべセミの声
夏の夜光の中にカブト虫
おいしいなだがしはいつもうまい棒
夏の夜花火大会きれいだな
夏の夜ふうりんゆれる夏の風
たきの汗スタンプラリーで太田知る
夏の海ザアザアと流れる海の音
夏休み先が見えない宿題だ

六年 六年

永田 馬場 駒井 藤田 幸奈 金井 一真 平形 望瑠 中村 翔子 森田 愛菜 松田 蓮 岩崎 跛翔 島田 琉生 島藤 理心 近藤 雄飛 斎藤 叶音 石原 芽依 石橋 越須賀悠人 斎藤 良輔 尾内 結菜 島田 晏滋 清水 葵 成塚 善士 山本 晃大 平形 遥来 正田 美采 神山 隆玖 青山 晴飛 白石 直澄

北の杜学園

秋の山赤黄オレンジ美しい
朝ひかる夏の太陽大好きだ
思いやり相手のことを考えよう
スケジュールすべて家内にもう暑のせい
星光る夜空に広がる宝物
せみの声夏がはじまるあいだね
暑い夏みんなでプール楽しいな
ゲーム機であそびづくしの夏休み
ゴロゴロと夏に見かける黒い雲
午後の庭暑さでゆれるハンモック
かぶと虫暑い真夏をのりこえる
夏まつり町内にひびくたいこの音
帰り道ほたるの光が目に映る
夏の夜の線香花火キレイだな
夏休みみんなで仲良く海水浴
いつくるかとあせをたらしながらまつはなび
風鈴の音色を聞けば夏來たる
学校で友達みんな笑つてる
森想い四角い住み家カブトムシ
夏休み宿題多くて休めない
いじめだよ心ない発言きずつくよ
夏休みセミの寿命と同じかな
お祭りの夜店に始まる夏休み
バーベキュー焼く焼く焼くよ肉焼くよ
アイス落ちアリのパーティーはじまつた
昼寝から覚めて一言「アイスある?」
夏の夜くらい夜てらす月の光

六年 六年

新井	上田	太田	岡島	尾林	岡島	上田	太田	新井
胡夏	仁	敬造	栗原	香取	栗原	大智	仁	胡夏
			小島	小島	小島			
			羽琉	羽琉	羽琉			
			悠加	悠加	悠加			
			奈々	奈々	奈々			
佐々木	佐藤	佐藤	小林楚々乃	小林楚々乃	小林楚々乃			
佐々木	菜月	菜月						
佐々木	悠馬	悠馬						
佐々木	翔	翔						
佐々木	大翔	大翔						
佐藤	颯真	颯真						
佐藤	陽咲	陽咲						
佐藤	館澤	館澤						
佐藤	庵慈	庵慈						
佐藤	千寿	千寿						
佐藤	當間歌風南	當間歌風南						
佐藤	戶塚	戶塚						
佐藤	優羽	優羽						
佐藤	福田	福田						
佐藤	結衣	結衣						
佐藤	心春	心春						
佐藤	翔	翔						
今井	阿部	阿部						
今井	石井	石井						
浦井	那美	那美						
丈寿	美優	美優						

夏休み思い出たくさん楽しいな
夏祭り花火の下でかき氷
年すぎり休日とぎ一つ年
友達に会いたくなるな夏休み
夏休み花火大会楽しいな
守ろうゴミは道ばたにすてないよ
富士山緑たくさんきれいだな
風かおる夏の日の朝すずしいな
猛暑でも町内一丸お囃子最高
友達と花火大会夏休み
アイス食うエアコンの中夏がいい
金山でセミのなき声ミンミンミ
夏の海家族と遊び楽しいな
夏の日は暑くて外じゃ遊びづらい
夜なれば光かがやくほたるたち
ミンミンと夏を感じてかき氷
夏の海ザアザアひびく波の音
夏休みあそんで一日おわってく
夏休み兄と留守番友恋しい
夏の朝ぼくの目覚ましセミの声
じいじ還暦笑顔集まる夏休み
夏祭り楽しい時間はあつという間に
夏休み家族と過ごす楽しいな
夏の外かこくな天気毎日と
夏休みゲームでばつかおわってない
ゆかたきてすこはすかし夏祭り
秋の夜うたげのようになりひびく
猛暑にからやかに飛ぶとんぼかな

六年 六年

夏の夜の花火とともに実る恋

スイカわりみんなで食べる小玉スイカ

日差し除け友と笑って帰る道

暑い夏ふうりんの音きれいだな

夏がきて野球の大会勝ちたいな

ぐんま国際アカデミー

つかまえてにげようと飛ぶカブトムシ

夜の森甲虫めぐりたんさくだ

虹色の天然氷食べたいな

暗い朝羽根の音たどりカブトムシ

「いつやるの?」夕方からねセミとぼく

鳥羽 莉央

八木田 夢菜

米山 莉子

渡邊 碧海

渡邊 希心

鳥羽 莉央

八木田 夢菜

米山 莉子

渡邊 碧海

渡邊 希心

鳥羽 莉央

八木田 夢菜

米山 莉子

渡邊 碧海

鳥羽 莉央

八木田 夢菜

投句者数

太田小学校	九句
九合小学校	六八句
沢野小学校	五一句
圭川小学校	二句
鳥之郷小学校	七〇句
南小学校	五一句
休泊小学校	三句
強戸小学校	四九句
宝泉小学校	八〇句
宝泉南小学校	八句
毛里田小学校	五句
中央小学校	一〇句
宝泉東小学校	五四句
旭小学校	八三句
駒形小学校	五一句
城西小学校	二句
沢野中央小学校	五五句
世良田小学校	三三句
木崎小学校	三句
生品小学校	八句
綿打小学校	五六句
藪塚本町小学校	二四句
藪塚本町南小学校	三七句
北の杜学園	六四句
ぐんま国際アカデミー	六句
合計	八七三句

◆編集後記◆

今年も俳句コンクールの終盤を迎えるにあたりました。特に気を遣うのは表彰の通知文です。○○賞は○○小の○○さんへ間違なく届けなくてはなりません。届いてから、それは違う人でしたとは言えません。何回も確認をして賞の種類と名前、学校名を確認します。

そして本人の名前です。近年は読みにくい名前も多く、四苦八苦しています。作品集（データによるもの）には全生徒を載せるため、各学校へ名前を送り確認していただきます。その成果もあり最近は賞状や作品集の名前の間違いはありません。苦労の成果であります。

わたしにとつて小学生俳句コンクールはライオンズの恩師である笠原しの遺志を繋ぐことを肝に銘じておられます。笠原しは鉄工所を経営していました。日本酒が好きで、酔つて言われたのは「鉄は柔らかいんだよ」と。一般的には鉄は固いものと捉えます。でも、それを加工している笠原しにとつては「鉄は柔らかい」というのです。物事をこれだと決めつけるのではなく、色々な見方捉え方をすることの大切さを説いていました。

俳句もいろいろな見方、捉え方で考えることが大切です。ぜひ、皆さんも柔軟な思考で俳句を詠んでください。そして、大切なのは色々な人々のお陰様で生かされていると言う感謝の気持ちをいつの時でも忘れないことです。この俳句コンクールも大勢の皆様のご支援、ご協力で成り立っています。感謝の気持ちを大切にしてください。
ありがとうございました。

太田中央ライオンズクラブ俳句の会

会長 鈴木 信昭

◆鈴木伸一プロフィール◆

国際俳句雑誌「吟遊」同人。世界俳句協会会員。日本現代詩歌文学館評議員。85年、「俳壇正賞」受賞。

句集『桃夭』。編著『秀句350選 地』。共著『現代俳句の新鋭』『ようこそ俳句の世界へ。上毛ジュニア俳壇優秀句集1997~2009』『2010年朝の一句 上毛ジュニア俳壇年間優秀句集』『同2011年版』『同2012年版』『同2013年版』など。

97年より上毛新聞ジュニア俳壇選者として、年間22万を超える青少年俳句に接する。また、学校での俳句授業や講演なども行い、青少年が俳句に親しむ環境づくりに取り組んでいる。

太田中央ライオンズクラブ

国際協会333-D 第1リジョン第2ゾーン 会員数44名

所在地：太田市浜町3-6 太田商工会議所4階

電話：0276(45)9193 FAX：0276(48)5121

会長：濱田 博文 幹事：鈴木 信昭 会計：栗原 俊幸

令和7年度 太田中央L C子供育成事業

第13回太田市小学生俳句コンクール 実行委員会

実行委員長：矢部 伸幸

令和7年11月29日発行

後援団体・会社：太田市 太田市議会 太田市教育委員会 上毛新聞社 群馬テレビ

太田商工会議所 太田市青少年育成推進員連絡協議会

太田俳句協会

編集：東京広告株式会社



ライオンズへの参加を歓迎!!

ライオンズクラブは1917年にアメリカで誕生。世界約200カ国、130万人、日本では11万人の会員で構成されている世界最大の奉仕団体です。

「ウィサーブ」（われわれは奉仕する）を合言葉に様々な奉仕活動に取り組んでいます。

太田中央ライオンズクラブでは毎月2回の通常例会での情報交換を中心とし、老人ホーム慰問活動、清掃活動、青少年育成の小学生俳句コンクール、薬物乱用防止活動、外国人スピーチコンテストなど奉仕活動の分野は多岐多彩です。

「社会の役に立ちたいが、どうしたら？」とお考えの方にとって、太田中央ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。我々の一員として社会貢献しながら自分の人生をより豊かに成長させることができます。

奉仕の歓喜で共に成長しませんか！